

新年賀詞交歓会

公益社団法人東京ビルメンテナンス協会 協賛 東京ビルメンテナンス政治連盟



佐々木会長



都議会自民党ビルメンテナンス業
振興政策研究会 宇田川聡史会長



木村副会長

令和7年1月9日、令和7年新年賀詞交歓会（当協会主催、東京ビルメンテナンス政治連盟協賛）がハイアットリージェンシー東京にて行われ、会員、来賓等約370名が参加した。

佐々木会長からは「昨年は震災や豪雨等で多くの人命を失った痛ましい年でしたが、今年は平穏無事に年明けを迎えることができました。一方、世界情勢は依然として不安定な状況が続いており、まだまだ予断を許さない状況です。

当協会の活動では、コロナ禍の収束を受け、昨年は全ての行事を滞りなく終えることができました。これもひとえに皆様の普段のご支援の賜物と厚く感謝申し上げます。本年も皆様から様々なご意見を頂いた上で中身の濃い運営を行ってまいります。」との発言があった。

続けて、「ビルメンテナンス業界は、昨年度に労

災保険料率が引き上げられました。当協会は、3年後の改定に向けて労災保険料率の引き下げのための活動を積極的に行っておりますので、会員の皆様におかれましても従業員の安全に一層のご配慮をお願いいたたく存じます。

また、「守成は創業より難し」という古来の言葉がありますが、事業は立ち上げることに以上良好な状態を継続することが難しいと言われております。当協会は会員の皆様のさらなる躍進の一助となれるよう尽力すると同時に、公益法人の責務の一つでもある、業界発展に向けて引き続き邁進してまいります。」と年頭挨拶があった。

その後、鏡開き、乾杯、都議会自由民主党ビルメンテナンス業振興政策研究会会長の宇田川聡史氏から来賓祝辞があり、木村副会長の締めめの挨拶にて解散となった。